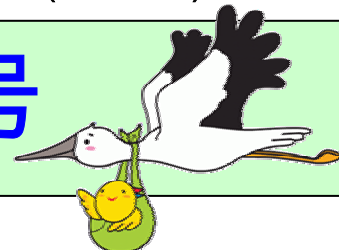


子ども未来通信 5 月号

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_000000002.html



ひょうご こどもリハビリテーションセンターが竣工（4月1日）

県立総合リハビリテーションセンター（神戸市西区曙町）内に、病棟・療護施設・学習棟が一体となった、ひょうご こどもリハビリテーションセンターが竣工し、井戸知事をはじめ関係者約 100 名が出席して、記念式典が開催されました。この施設は、肢体不自由児の医療と福祉サービス及び新たな小児リハビリの拠点として開設されたもので、発達障害の早期発見と早期支援を行います。また、「子どもの睡眠と発達医療センター」も併設し、子どもの睡眠障害による脳の発達への影響についての診断・治療が行われます。



（問）県福祉法人課 078-362-4443

東播磨生活創造センター・オープニングイベントを開催（4月26日）



生涯学習やボランティア活動などに対し、活動の場や情報の提供、各種セミナーの開催等、生活創造・地域づくり活動を総合的に支援する東播磨生活創造センターのオープニングイベントが開催され、記念コンサートや環境学習体験などに大勢の人でにぎわいました。井戸知事は「仲間とで 囲んでつくる 地域力 集いの拠点 今やはじまる」と、歌を披露し、積極的な活用を呼びかけました。また、東播磨で子どもの健全育成などの生活創造活動に取り組むグループは、保育ルームを保護者が無料で利用できる（要登録）など、子育て世帯にも配慮した運営が行われます。（問）県立東播磨生活創造センター 079-421-1136



「男女共同参画推進員」委嘱状交付式を開催（4月21日）



地域や職場において、男女共同参画社会づくりに向けた情報の収集・提供や啓発活動に取り組む「男女共同参画推進員」の委嘱状交付式が、県公館で開催。今回は、第4期推進員として429名（地域181名、企業181名、労働組合67名）が委嘱され、井戸知事が14名の代表者に委嘱状を交付し、「男女共同参画社会づくりの推進に向けて尽力いただきたい」と激励しました。また、4月23日には県・市町男女共同参画施策担当課長会議が神戸市内で開催され、7市町からの男女共同参画計画の策定等についての取り組み報告や「仕事と生活のバランス」「女性のチャレンジ支援」「地域での男女共同参画の推進」のテーマについてのグループ討議などが行われました。

（問）県立男女共同参画センター 078-360-8550

井戸知事が 県立大学環境人間学部「げんきっこ新在家」を訪問（4月13日）

県立大学環境人間学部のキャンパス内で、教員・学生らによって、県のすすめる「まちの子育てひろば」（現在1828カ所）の1つとして実施されている「げんきっこ新在家」を井戸知事が訪問。当日は「げんきっこ新在家」を利用している親子ら100名が参加。「ひとりぼっちの子育てだったが、ここがあったので仲間ができて、もうひとり生む決心がついた」「双子をもつと片時も目が離せないが、ここなら安心して遊ばせられる」「若い学生さんたちがおにいちゃん、おねえちゃんとしてかかわってくれるのでこどもたちも生き生き遊べる」といった声に、井戸知事は「県も皆さんの活動を応援しています」と激励、楽しい交流の時間がもたれました。

（問）県少子対策課

078-362-4183



県立明石学園で絵手紙コンテストを開催（4月11日）

県立明石学園で児童、職員、保護者、学校関係者等が一同に会して花見会が行われ、その中で、児童たちがつくった絵手紙コンテストが開催されました。この絵手紙には、学園内に咲いている花の絵を添えて、日頃素直に気持ちを伝えられていない、親や先生に対するお礼や今後の抱負などがつづられ、多数の力作の中、「お母さん、どんな時も見守ってくれてありがとう」「野球の全国大会にいけるように練習をがんばる」など、3名の作品が表彰されました。



(問) 県児童課 078-362-3198

新たに洋服の青山がひょうご子育て応援の店に参加 ~協力店舗数は1,750に~

子育て世帯を社会全体で支援する「ひょうご子育て応援の店」は、昨年12月にサービス開始以来、この度、協力店舗が1,750となりました。

新たに協力店として加わった「洋服の青山」(県内37店舗)では、パスポートの提示により、代金が5%割引になるなど、各企業・店舗の工夫により様々なサービスが行われています。協力店舗の登録、パスポートの取得方法等については、県ホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000024.html

(問) 県少子対策課 078-362-4232



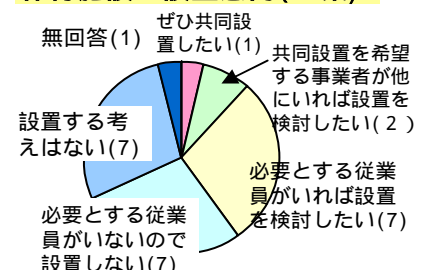
洋服の青山・神戸駅前本店

求められる事業所内保育施設 ~北播磨県民局調査より~

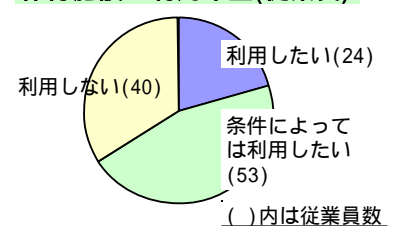
北播磨県民局は、兵庫労働局、三木市の協力を得て、三木工場公園内の企業と従業員を対象に、子育てに関する職場環境の実態や事業所内保育施設等のニーズ調査を実施。25社(回収率71.4%)、172人(同53.9%)から回答があり、事業所内保育施設の共同設置に「前向きに検討したい」(企業・40%)や「利用したい」(従業員・66%)との意向がある一方、社内の両立支援策は「現状のままで良い」(企業・68%)、「制度の充実を図ってほしい」(従業員・60%)と認識の差異があることが判明。また、県の事業所内保育施設の設置助成制度等の支援策については大半の企業(88%)が「知らない」ことから、一層の情報提供が求められることも伺えます。

(問) 北播磨県民局地域協働課 0795-42-9513

保育施設の設置意向(企業)



保育施設の利用希望(従業員)



事業所内保育施設設置を助成します

子どもを育てながら働く人のために、事業所内に保育施設を設置する事業主に対し、設置経費の一部を助成します。

補助対象： 施設の建築費、工事費、設計監理料、施設購入費、単価が1万円以上の保育遊具等購入費

補助率： 1 / 2

補助限度額： 750万円

施設規模： 乳幼児定員3～9人、施設総面積が乳幼児1人当たり7㎡以上

事業主： 次世代育成支援対策推進法第12条に基づく一般事業主行動計画を策定済み等

今年度から、テナントビル内に入居する事業主の従業員のための保育施設を設置するビルオーナーを補助対象に追加しました。その他、詳細についてはお問い合わせください。



(株)アソシアルパソティエの保育施設
- 県の助成制度を活用 -

(問) 県少子対策課 078-362-4186

淡路市が子育て支援商品券を発行（5月6日～）

淡路市は、子育て支援・地域活性化事業として、市商工会とタイアップして、市内の18歳以下の子どもがいる家庭を対象に、「すくすく商品券」を発行。額面580円の商品券を500円で販売し、市内約360の協賛加盟店で利用できる仕組みで、商品券の購入には、市から配布される「すくすくカード」の提示が必要。加盟店はピンク色の旗が目印です。市社会福祉課は「子育て家庭の経済的負担の軽減になれば」と話しています。



（問）淡路市社会福祉課 0799-64-2510

県立こどもの館「演劇ボランティア養成講座」参加者を募集（6月28日～）

「こどもの館劇団」等の指導にあたる演劇ボランティア（指導者）養成講座を開催します。日時：6月28日（土）～8月17日（日）（講座編6月28日～7月6日、実践編7月27日～8月17日）場所：県立こどもの館・研修室 定員：25名（6月9日締切）参加料：無料（問）県立こどもの館事業課 079-267-1153



「ありのままの私を知るための自分らしさ発見講座」参加者募集（6月10日～）

子育てや仕事に追われて少し自信をなくしていませんか。グループワークの手法を用いて、自分らしさを認識し、自信を持って前に進むための講座を開催します。日時：6月10日、17日、24日 各日とも10:00～12:00 場所：県立男女共同参画センター・セミナー室 定員：20名（応募者多数の場合は抽選）参加料：無料（問）男女共同参画センター 078-360-8550

「子どもとインターネット社会を考える兵庫フォーラム」参加者募集（6月3日）

総務省近畿総合通信局、兵庫県、財団法人兵庫県青少年本部、近畿情報通信協議会とひょうごユースケアネット推進会議は、インターネットの正しい使い方等についての意識を高め、家庭・学校において氾濫する有害情報から子どもを守り育てる具体的な方策などを考える講演会と座談会を開催します。日時：6月3日（火）13:30～16:15 場所：県民会館9階けんみんホール 定員：350名（定員になり次第締切）参加料：無料（問）総務省 近畿総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 06-6942-8512

新年度の市町の少子対策担当部局

川西市が子ども部を設置し、加西市と朝来市が少子対策の主管を教育委員会に移管するなど、多くの市町で少子対策推進のための体制強化等が図られました。

地域	市町	担当組織	地域	市町	担当組織
神戸	神戸市	保健福祉局子育て支援部	中播磨	姫路市	健康福祉局福祉部子育て支援室
阪神南	尼崎市	健康福祉局子ども青少年部 子ども青少年企画課		神河町	住民生活課
	西宮市	健康福祉局子ども子育て企画グループ		市川町	健康福祉課
	芦屋市	保健福祉部子ども課		福崎町	教育委員会学校教育課
	阪神北	伊丹市	子ども部子ども室子ども企画課	相生市	市民福祉部子育て支援室
宝塚市		子ども未来部子ども室子ども政策課	たつの市	健康福祉部児童福祉課	
川西市		子ども部子育て室子育て支援課	赤穂市	健康福祉部子育て健康課	
三田市		健康福祉部福祉推進室子ども課	太子町	生活福祉部社会福祉課	
東播磨	猪名川町	生活部福祉課	上郡町	健康福祉課	
	明石市	福祉部子ども室子育て支援課	佐用町	福祉課	
	加古川市	福祉部子ども支援局子ども課	宍粟市	福祉部社会福祉課	
	高砂市	福祉部児童福祉課	豊岡市	教育委員会子ども育成課	
北播磨	稲美町	健康福祉部地域福祉課	養父市	健康福祉部福祉課	
	播磨町	福祉グループ	香美町	健康福祉部福祉課	
	西脇市	福祉生活部児童福祉課	新温泉町	福祉課	
	三木市	市民ふれあい部子育て支援課	朝来市	教育委員会幼児対策室	
丹波	小野市	市民福祉部子育て支援課	篠山市	保健福祉部子ども未来課	
	加西市	教育委員会子ども未来課経営戦略室	丹波市	福祉部子ども福祉課	
	加東市	福祉部子育て支援課	洲本市	健康福祉部福祉課	
	多可町	子ども課	淡路市	健康福祉部社会福祉課	
			南あわじ市	健康福祉部少子対策課	

子育て家庭を応援します！県民局レポート 「“ほのぼの家族”エッセー集」を発行 ～ 阪神南県民局 ～

阪神南県民局では、子どもの虐待、家庭内暴力、これらに伴う家族の絆の喪失など、一家庭では解決できない問題を地域をあげて解決していくきっかけづくりを進める「家庭再生」事業を展開中。この一環として、昨年夏に募集を行った“ほのぼの家族エッセー”に応募のあった457点から選定した優秀作35点をエッセー集にまとめました。家族の絆の大切さを再認識するきっかけにいただければと考えています。配布を希望される方は、140円分の返信用切手を同封の上、郵便で申込みください。



(問) 阪神南県民局地域協働課 06-6481-4397 / 〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

企業・団体の活動紹介

重症心身障害児施設「医療福祉センターきずな」(加西市) ～ 24時間院内保育室を運営～

社会福祉法人「養徳会」(内藤道榮・理事長)は、重度の知的障害と肢体不自由の重複障害を持つ児童(者)の入所・療育を行う重症心身障害児施設「医療福祉センターきずな」を開設しています。施設職員の8割は看護師をはじめとする女性であるため、院内保育室(定員14名)を設け、2交代勤務体制を考慮した24時間保育や夏休み期間中の一時的利用等、職員の多様なニーズを取り入れ、職員が安心して仕事に取り組むことができ、より良い療育の提供につなげています。



(問) 医療福祉センターきずな 0790-44-2881 / 社会福祉法人養徳会 0795-32-2216

多胎児子育て支援グループ マミー・ベアーズ(神戸市) ～ 多胎児のお母さんを応援～

「多胎児子育て支援グループ マミー・ベアーズ」(藤本佳子・代表)は、単胎児に比べてリスク・負担の大きい多胎児を妊娠・育児中のお母さんに、「楽しい子育てをして欲しい」「お母さん、ひとりでがんばらないで」と、多胎児家庭の交流集会やおしゃべりサロンの開催、相談受付、情報紙の発行などの活動をしています。スタッフは多胎児の親が中心で、自らの同じ経験を踏まえて、子育てに悩み、家にこもりがちな人に適切な支援を提供しているほか、県内各地の多胎児サークルにアドバイザーとして出向くなど、活動の輪を広げています。同団体は、「平成19年度子育て応援元気アップ賞」を受賞しました。



(問) 多胎児子育て支援グループ マミー・ベアーズ 078-991-5698

㈱日本海フーズ(香美町) ～ 園児に「海苔のつくだに」をプレゼント～

株式会社日本海フーズ(西川友行・代表取締役)は、水産物の製造・販売と海産物レストランの経営をしている会社です。全国海苔貝類漁業協同組合が約40年前に定めた2月6日の「海苔の日」に、17年前から毎年、町内の全保育園・幼稚園児に海苔のつくだ煮の瓶詰を贈呈しています。海苔にはビタミンAやカルシウムが豊富に含まれていますので、子どもたちにたくさん食べて元気に育ってほしいと思います。



同社は、「平成19年度子育て応援元気アップ賞」を受賞しました。

(問) ㈱日本海フーズ 0796-36-1500

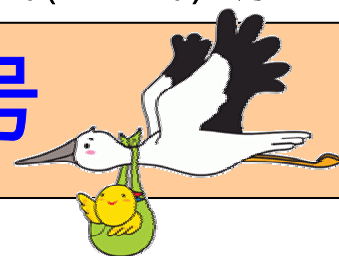
編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。4月から、次の組織・アドレスに変更となりました。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部企画少子局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

子ども未来通信 6 月号

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_000000002.html



兵庫県・京都府・大阪府 3 府県知事会議で「子育て応援の店」の連携強化を確認(5 月 19 日)



井戸兵庫県知事、山田京都府知事と橋下大阪府知事が、兵庫県公館で、少子対策や地方分権改革、関西の自立と再生に関する共同アピールなど、3 府県に共通する政策課題について協議。少子化への取り組みとして、井戸知事が“子育て応援・関西キャンペーン”の一環として実施中の子育て応援の店の連携強化を提案し、「できる限り全府県で同じ仕組みとするのが好ましい」、「関西で統一した事業名などを用いた方が PR 効果がある」などの意見が交わされ、関西全域での一層の普及へ向けて、今後検討を進めていくことが確認されました。

(問)県少子対策課 078-362-4232

ひょうご・こども環境会議を開催(5 月 17~18 日)



環境大臣会合を機に、地域で積極的に地球環境を考え、行動する子どもの育成をめざし、県内各地から小学生約 140 名の参加を得て、「ひょうご・こども環境会議」が開催され、17 日は西宮市の自然環境センター等で、田植え、除伐、チップづくりなどを体験。18 日は県公館で、活動・学習発表会が行われ、「川のごみが魚や鳥たちに悪い影響を与えている」、「人間の活動で絶滅していく植物を大切に」などの意見が述べられました。また、地球環境を守るためのメッセージを大きなフラッグにまとめてアピール。井戸知事は「今日の皆さんのメッセージはきっと環境大臣に届くことでしょう」と激励しました。

(問)環境大臣会合等兵庫県推進協力委員会事務局 078-361-8596

総務省と兵庫県が「子ども農山漁村交流プロジェクト推進セミナー」を開催(5 月 9 日)

5 年後に全国の小学生 120 万人が農山漁村での宿泊体験を行うことを目指す「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進するセミナーが、井戸知事をはじめ学校関係者等約 200 名が参加により、全国で初めて開催されました。午前の部では、名和田是彦・法政大学教授が「コミュニティと子どもたちのかかわり」、宮川八岐・日本体育大学教授が「体験活動の教育的意義」について講演。午後の部では、県教委、南但馬自然学校、NPO 法人の関係者から、体験活動の現場での子どもたちの成長していく姿や活動内容についての事例報告が行われました。



(問)県地域担当課 078-362-9014

ひょうご子育て応援の店に「和食さと」や理容店も参加 ~1,776 店舗に~



子育て世帯を社会全体で支援する「ひょうご子育て応援の店」は、5 月末現在で協力店舗が 1,776 となりました。新たに加わった「和食さと」では、パスポートの提示により、「キッズドリンク」が無料(小学生以下)、理容店では毎月 2 回特別割引(小学生以下)になります。店舗情報やパスポートの取得方法等については、次の県ホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_000000024.html

携帯電話からのパスポート画面取得：右の QR コード(又は apply@hyogo-kosodate.jp)にアクセスしてください。



(問)県少子対策課 078-362-4232

県・市町少子対策協働会議を開催（5月22日）

県と市町が協働して少子対策を推進するため、次世代育成対策、保育や母子保健の担当者のほか、しごと支援担当も参集して、県・市町少子対策協働会議を開催。会議では、県の主要事業説明のあと、市町から男女の出会いの機会づくりや子育て支援商品券の発行など本年度の新たな取り組み事例を紹介。その後、地域別の9グループに分かれて討議を行い、「地域の子育て力を高める取り組みが必要」、「要保護児童の相談内容が年々深刻化しており、さらなる体制強化が必要」など活発な意見が交わされました。



(問)県少子対策課 078-362-4183

ファミリーサポートセンターアドバイザー等研修会を開催（5月21日）

県は、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を行いたい人（提供会員）が会員になって子育て中の人や働く家庭を支えるファミリーサポートセンター（24市町 / 3月末現在）のアドバイザー等研修会を県立男女共同参画センターで開催。参加者から、協力会員の確保や病児、急な預かりといった多様化するニーズへの対応などの現状報告が行われた後、各グループに分かれて意見交換を実施。「各センターからの実際の援助活動の現状や課題点が伺え、大変有意義であった」などの感想が寄せられました。



(問)県少子対策課 078-362-4185

ファミリーサポートセンターの提供会員を募集

会員数は、依頼会員12,225人に対し、提供会員4,151人、両方会員（提供会員と依頼会員の両方に登録）2,108人（3月末現在）と、依頼会員に対して提供会員が少ない状況であり、各センターとも、特に提供会員を募集しています。依頼会員や両方会員も募集しています。

主な援助内容：保育所の保育開始前・終了後の子どもの預かり、保育施設までの送迎、放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり 等

謝礼等：センターの規定により、500～900円程度 / 時間の謝礼と実費を依頼会員が提供会員に支払

(問)県少子対策課 078-362-4185

まちの子育てひろば連絡会議を開催（5月16日）



ひろばの活動の様子

県は、子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合ったり、情報交換等ができる身近な拠点施設を推進する「まちの子育てひろば事業」（1,824か所 / 4月末現在）の一層の充実を図り、効果的な事業の実施を推進するために連絡会議を開催しました。各県民局のまちの子育てひろばコーディネーターなど30名が参加し、東播磨県民局からの歯科衛生士会とネットワークを築いている優れた事例の紹介や、地域で抱える現状や課題等について、活発な意見が交わされました。

(問)県少子対策課 078-362-4185

まちの子育てひろばの開設を募集

県では、子育て中の親子（原則就学前）を対象に、交流、情報提供、相談、体験活動などの活動を通じた子育てを応援する場づくりを進めるため、まちの子育てひろばの開設者を募集しています。

活動内容

保育所、幼稚園、児童館、公民館、民家、空きスペースなどで、子育て親子が気軽に集まって、語り合い、交流する場の提供

県からの支援

看板・掲示板の貸与、「動く・こどもの館号」、「ひろばアドバイザー」の派遣、「まちの子育てひろばコーディネーター」の応援

(問)県少子対策課 078-362-4185

県立こどもの館が「こどもフェスティバル」を開催（5月5日）

県立こどもの館で、子どもたちの健やかな成長を願い、多世代がふれあい交流を深める場として「こどもフェスティバル」が開催されました。清原県理事兼少子対策本部事務局長の挨拶と保育園児や児童らによる和太鼓や吹奏楽の演奏で始まり、こまや風車の工作や化学実験など約30のブース・ステージが企画され、子どもたちが大小の四角を用紙一杯に描いて寄せ集める「四角でアート！『大壁面画』」では、5歳から10歳までの45人の子どもたちが、夢中になって絵筆を動かしていました。このほか、「多世代ふれあい交流サロンスペシャル」などの多彩なプログラムが展開され、約7,500人の親子連れで終日賑わいました。

(問)県少子対策課 078-362-4185



四角でアート！「大壁面画」

中播磨青少年本部が「昔あそびフェスティバル」を開催（4月27日）



中播磨青少年本部と中播磨青少年交流サロンは、昔遊びの楽しさや大切さを知ってもらおうと、県立こどもの館やボランティアの協力を得て、姫路市の大塩天満宮境内で「昔遊びフェスティバル」を開催。1,200人を越える親子連れでにぎわいました。こま、缶馬、紙トンボ、ぶんぶんゼミなどの工作コーナーでは子どもたちは時間を忘れて取り組み、遊びの広場では各テントで作ったこまや、けん玉、輪投げなどで遊びました。また、ステージでは、ストレッチ体操、南京玉すだれ、和太鼓などの演奏、童謡コンサート、餅まきなどが行われ、大人も子どもも楽しい一日を過ごしました。

(問)中播磨県民局地域協働課 079-281-9320

県立美術館でこどものための美術鑑賞術を開催（3月22日～6月29日）

県立美術館では、一年を通じて、子どもたちにも親しんでもらえるコレクション展を企画。その第一弾として、コレクション展「絵とはなそう・たんけん！はっけん！美術館！」を開催しています。「特集 こどものための美術鑑賞術」をテーマにした最初の展示室には、美術館のコレクションに合わせたワークシートやパズルなど、体験・発見できる仕掛けが多く用意され、ほかの展示室にも、大人も子どもも楽しく作品を鑑賞できるような工夫が施されています。

(問)県立美術館 078-262-0901



創作に取り組む子どもたち

淡路市が「すくすくフェスティバル」を開催（5月6日）

淡路市は、県立淡路佐野運動公園（ボールパークあわじ）で、子育て支援「すくすくフェスティバル」を開催。これは、市と淡路市商工会が子育て支援商品券の発行を記念して開催したもので、会場は家族連れらでにぎわい、じゃこめしや豚汁のふるまいなどのほか、淡路市内の子どもたちによる太鼓演奏など9グループのパフォーマンスで盛り上がりました。会場では、「すくすく商品券」580円券20枚セットを1万円で販売、買い物が16%得になることから人気を呼び、約3,000セットの売り上げがありました。

(問)淡路市社会福祉課 0799-64-2510



「第12期男女共同参画アドバイザー養成塾(平成20年度)の受講生を募集（6月20日～）

男性も女性も、自分の意思で社会に参画し、喜びも責任も分かち合う社会（＝男女共同参画社会）を推進するためのキーパーソンを養成する講座を開催します。 日時：6月20日～12月19日（金）のうち14日間
場所：県立男女共同参画センター 定員：約40名 参加料：無料

(問)男女共同参画センター 078-360-8550

県立山の学校「人生まなび塾」参加者を募集（7月6日～）

次世代を担う青少年に、コミュニケーションの場や多様な職業・匠の技等に触れる機会を提供することを通して生きることや働くことのすばらしさ・魅力を伝える体験型プログラムを行います。 日時：7月6日（日）～1月18日（日） 場所：宍粟市、姫路市ほか 定員：1プログラムあたり20名 参加料：日帰りの場合1,000円～2,000円程度、1泊2日の場合4,000円程度

(問)県立山の学校 0790-62-8088

県立こどもの館「第1回父親のための子育て応援講座」参加者を募集(7月12日~)

父親と子どもが自然とふれあう体験や親子体操等を通して、きずなをいっそう深め、父親の子育てや家庭教育への参加意識を高めるための講座を開催します。 日時: 7月12日(土)・13日(日)(1泊2日) 場所: 県立こどもの館 定員: 約30組(6月13日締切: 先着順) 参加料: 大人1人4,500円、子ども1人3,000円(宿泊費・食事代等を含む。) (問)県立こどもの館 079-267-1153

県住宅供給公社が新婚・子育て家庭の入居者を募集(12月31日まで)

県住宅供給公社が阪神間を中心に管理している特定優良賃貸住宅において、新婚の方を応援する「新婚ネオライフプラン」、子育て中の家庭を応援する「子育て安心プラン」、老親と同居の家庭を応援する「シルバー同居交流プラン」を設け、毎月の入居者負担額に対し2万円を補助するキャンペーンを実施しています。申込期限: 平成20年12月31日 (問)阪神間の住宅: 公社住宅募集センター 0798-63-4810・神戸市内の住宅: 神戸事務所 078-232-9557・明石市内の住宅: 播磨東事務所 079-423-0117・上郡町内の住宅: 播磨西事務所 079-289-0076



団体・企業・大学の活動紹介

手作りおもちゃボランティア(伊丹市) ~新生児に「くまのおもちゃ」をプレゼント~

「手作りおもちゃボランティア」(河内やす子・代表)は、平成14年から活動を始めたボランティアグループです。現在は17人が毎週月曜と金曜に集い、パイル地の「くまのおもちゃ」を製作し、市への出生届時や4か月健康診査時に赤ちゃんに手渡してプレゼントしています。その数は、年間2,000個に至り、市内の出生数とほぼ同じになります。子どもの健やかな成長を願うとともに、親子のコミュニケーションの一助になればと思います。同団体は、「平成19年度子育て応援元気アップ賞」を受賞しました。(問)手作りおもちゃボランティア 072-771-1152(伊丹市子育て支援センター内)



(株)神戸デジタル・ラボ(神戸市) ~子どもの看護休暇を年12日まで取得可能~

(株)神戸デジタル・ラボは、ITシステム開発などを行っている会社です。当社では、小学校就学に達するまでの子どもを養育している社員に対して、年次有給休暇とは別に「子の看護のための休暇」を付与しています。当社の平均年齢は32歳で、該当する社員が多く、育児休業から復帰した社員もいるため、仕事と育児が両立できる環境の整備に力を入れています。制定当初は法定どおり年間5日を限度としていましたが、現在では、1か月に1日はとれるようにと、年間12日を限度に付与することとしています。

同企業は、平成18年度に県と子育て応援協定を締結しました。

(問)(株)神戸デジタル・ラボ 078-327-2280



兵庫大学(加古川市) ~保育科公開講座の受講生を募集(6月28日~8月2日)~

兵庫大学(前兵庫短期大学)保育科は、次世代を担う青少年に対し、コミュニケーションの場や多様な職業・匠の技等に触れる機会の提供を通して子育てを楽しむための理論と実践講座 - ノーバディース・パーフェクトを念頭に - を行います。 日時: 6月28日(土)、7月5日(土)、7月12日(土)、7月19日(土)、8月2日(土): 時間はいずれも10:00~12:00 場所: 兵庫大学 定員: 各講座とも15~20名 参加料: 無料

(問)兵庫大学学事課 079-427-9931

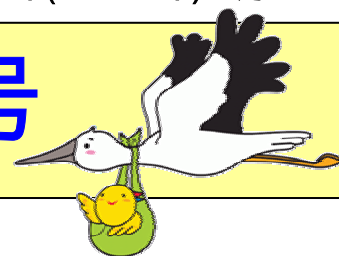
編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。4月から、次の組織・アドレスに変更になりました。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部企画少子局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

子ども未来通信 7 月号

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_000000002.html



井戸知事が近畿知事会議で「子育て応援の店」の連携強化を提言（6月6日）

井戸知事は、近畿ブロック知事会議で、“子育て応援・関西キャンペーン”の一環として近畿各府県で実施中の「子育て応援の店」の近畿全府県間での相互利用を進めるとともに、広域展開をしている店舗を中心に協力店舗を拡大し、一層の普及促進を図ることを呼びかけました。これは、5月の京都府・大阪府知事との協議結果を踏まえて行ったもので、今後、3府県でとりまとめた案をもとに、具体的な方策をとりまとめ、次の近畿知事会に諮ります。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

子どもとインターネット社会を考える兵庫フォーラムを開催（6月3日）



急激に進展するインターネット社会の中で、どうすれば子どもがインターネットと正しく向き合えるかを考えるフォーラムが、神戸市内で開催されました。齋藤副知事が「インターネット社会との関わりについて大人も子どもも真剣に考えましょう」と挨拶した後、大久保貴世・財団法人インターネット協会主任研究員が講演し、「インターネット上では必要以上に自分をアピールしないこと」「子どもからの相談にはとにかく話を聞いてあげよう」と呼びかけました。また、小林剛・県立神出学園長がコーディネーターとなり、子どもが安全・安心にインターネットを活用できるよう、家庭で教えるべきことや子どもが考えるべきことについて座談会が開かれ、活発な意見が交わされました。

(問) 総務省 近畿総合通信局 06-6942-8512 / 県男女青少年課 078-362-3142

出会いサポートセンターが「ボランティア体験あいのりバス」を開催（6月21日）



バーベキュー



清掃ボランティア

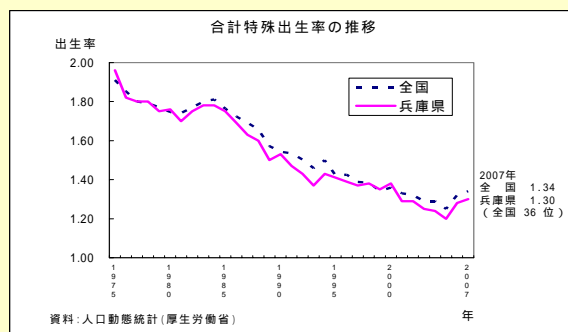
ひょうご出会いサポートセンターは、但馬県民局和田山土地改良事務所と連携し、東鉢伏高原体験村（豊岡市）で「ボランティア体験あいのりバス」を開催。男女あわせて35名が参加しました。当日は鹿肉などのバーベキューを楽しんだ後、鉢伏高原のラベンダー畑で草抜き等のボランティアを体験し、意気投合。8組のカップルが誕生しました。今後も、ひょうご出会いサポートセンターは、体験型などの多彩なイベントを企画し、男女の出会いの場づくりを進めていきます。

(問) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

平成 19 年の合計特殊出生率と府県別順位が共に上昇

厚生労働省が6月4日に発表した人口動態統計によると、平成19年度の合計特殊出生率は、全国が1.32から1.34に、兵庫県が1.28から1.30に上昇しました。（兵庫県の順位は全国38位から36位に上昇）なお、上昇理由については、微減だった出生数に対して、出産期にあたる女性人口の減り方が大きく、相対的な数値が上がったためでもあり、今後もさらに少子対策を充実強化することが求められます。

出生率 = 出生数 / 女性人口 を女性の年齢別（15～49歳）に算出し、合計したもの
(問) 県少子対策課 078-362-4183



県立こどもの館が「多世代ふれあい交流サロン」を開催（6月15日）

県立こどもの館では、世代を超えた豊かなふれあいを創造し、交流を深める場として、地域の伝統芸能継承団体や子育て支援サークルの発表会などを行う、「多世代ふれあい交流サロン」を毎月1回開催しています。6月の交流サロンでは4グループが出演し、人形劇、お話コンサート、マジック&アートバルーン、よさこいが披露されました。会場を訪れた人たちは、幼い子どもから大人まで、よさこいの出演者に「うらじゃじゃ音頭」の手ほどきをうけて一緒になって踊ったり、幕間には、こどもの館のスタッフから紹介された簡単な手遊びで楽しみ、「普段なかなか経験できない、世代を超えたかかわりの大切さを実感できた」といった感想が寄せられました。

(問)県立こどもの館 079-267-1153

よさこいの披露



手遊びの紹介



第2回女性医師の会・フォーラム「女性医師の多様な働き方」を開催（6月14日）

兵庫県医師会・女性医師の会は、女性医師たちが、安心して働くことができる環境づくりを考えるフォーラムを神戸市内で開催しました。基調講演で山崎麻美・国立病院機構大阪医療センター副院長が、同センターで取り組んでいる女性医師の勤務環境改善プロジェクトについて紹介し、「女性医師の存在が現在の医療危機を乗り越えるためには欠かせない」と説明。シンポジウムでは、「女性医師の就労継続には、上司や家族などの理解や保育所などの施設整備が必要」「女性医師自らも環境整備のためには声を上げるべき」などの意見が交わされました。



(問)県医務課 078-362-3243

「まちなか子ども体験活動プログラム検討会議」を開催（6月13日）



県立こどもの館は、子どもたちの体験活動などの指導者として阪神地域を中心に活躍する人材を養成するための講座の開設へ向けて、第1回まちなか子ども体験活動プログラム検討会議を尼崎市内で開催しました。会議では、子育て支援団体の代表者や学識者等の委員により、具体的な研修プログラムや体験活動の題材について議論され、「子どもの社会性を養うためには乳幼児期からの遊びが大切」「昔遊びや伝承遊びは同世代間や異世代間で一緒に遊ぶことができ、子どもたちに豊かな感性や思いやり、コミュニケーション能力を育てることができるので題材として適当」といった意見が出されました。今後、さらに検討を重ね、10月に指導者養成講座を、11月からは順次、阪神地域の各市町において子どもたちの体験活動を実施していく予定です。

(問)県立こどもの館 079-267-1153

児童福祉週間記念事業「おーい集まれ！こいのぼりのつどい」を開催（6月1日）

県と児童養護推進連盟・乳児院連盟は、県内の児童養護施設や乳児院の子どもたち1,200人が県立明石公園に集う、こいのぼりのつどいを開催しました。清原県理事兼少子対策本部事務局長から、「皆さんはいろいろな才能と可能性をもっているので様々なことに積極的にチャレンジしてください」と激励の後、ソーラン総踊り、各施設対抗の演技披露や大縄跳び競争などの催しが行われ、また、模擬店やゲームコーナーも設けられ、子どもたちは晴天の1日を楽しみました。



(問)県児童課 078-362-3198

事業所内保育施設設置を助成します

子どもを育てながら働く人のために事業所内に保育施設を設置する事業主に対し、設置経費の一部を助成します。 補助対象： 施設の建築費、工事費、設計監理料、 施設購入費、 単価が1万円以上の保育玩具等購入費 補助率： 1 / 2 補助限度額： 750 万円 施設規模： 乳幼児定員3～9人、 施設総面積が乳幼児1人当たり7㎡以上 事業主： 次世代育成支援対策推進法第12条に基づく一般事業主行動計画を策定済み等 今年度から、テナントビル内に入居する事業主の従業員のための保育施設を設置するビルオーナーを補助対象に追加しました。その他、詳細についてはお問い合わせください。(問)県少子対策課 078-362-4186

「県立宝塚西谷の森公園」が開園します（7月27日）

宝塚市北部に残された自然・里山を守り、育て、楽しみ、学べる「県立宝塚西谷の森公園」が開園します。公園は、東の谷・西の谷・森林の3つのエリアに分かれ、水辺ゾーン・湿田復元ゾーン・農舎・温室・展望台・東屋・散策路・管理棟等を整備。誰もが自然とふれあい、里山を楽しめる森公園となっています。今後は、四季折々の農体験、里山観察といったプログラムを予定しており、1年を通して、親子・家族のふれあいの場、環境学習の場、世代間交流の場として利用いただけます。開園当日正午からは、自然体験などのイベントを開催します。所在地：宝塚市境野字保与谷14-1 入園無料（問）県立宝塚西谷の森公園事務局 0797-91-1630

東の谷管理棟



開園準備活動(田植え)

「イーブン保育付きライブラリー」の参加者を募集（7月3日、8月7日、9月11日）

小さい子どもがいる方に安心して読書などを楽しんでもらおうと、平成19年6月に始めた県立男女共同参画センター「イーブン保育付きライブラリー」が、平成20年3月に県ハーバーランド庁舎（神戸クリスタルタワー）7階に移転。保育室もさらに使いやすくきれいになりました。日時：7月3日（木）、8月7日（木）、9月11日（木）：毎月1回実施で、時間はいずれも午前10時～12:00 場所：県立男女共同参画センター・イーブン 定員：各回8名 参加料：無料（問）男女共同参画センター 078-360-8550

ひょうごフォーラム「男女共同参画と『仕事と生活のバランス』」参加者を募集（7月7日）

女性も男性も、いきいきと自分らしく生きることを支援し、広く普及するために定められた「男女共同参画週間」の記念行事として、少子化やワークライフバランスに詳しい東京大学社会科学研究所の佐藤博樹教授を招いたフォーラムを開催します。日時：7月7日（月）13:30～16:00 場所：神戸クリスタルタワー3Fクリスタルホール 定員：200名（先着順） 参加料：無料 一時保育実施（原則1歳半から就学前まで 無料・要予約）（問）男女共同参画センター 078-360-8550

「子育て世代陶芸ワークショップ」参加者を募集（7月27日まで）

貯金箱やお皿づくりなど、美術館陶芸指導員のアドバイスを受けて、夏休みの宿題に取り組みます。日時：作陶/8月6日（水）、7日（木）10:00～12:00（完成作品受取・鑑賞は8月23日（土）10時以降） 場所：兵庫陶芸美術館 定員：各日20名 対象：小中学生と保護者 参加料：500円（保護者は1,300円） 申込期限：7月27日（日）先着順（問）兵庫陶芸美術館 078-597-3961

県立こどもの館「幼児教室研修会」参加者を募集（8月4日～）

児童の健全育成に関わる指導者（保育士、幼稚園教諭、児童健全育成関係者など）がより広い視野での知識や理解を深め、実践的手法を取得するための研修会を開催します。日時：8月4日（月）、11日（月）、21日（木）、28日（木） 場所：県立こどもの館又は県民会館 定員：各250名（7月14日締切で先着順） 参加料：無料・要予約（問）県立こどもの館 079-267-1153

団体・企業・大学の活動紹介

国際ソロプチミスト淡路（淡路市）～親と子のふれあい広場を開催（6月1日）～

国際ソロプチミスト淡路（大継淳子・会長）は、親と子のふれあい広場を淡路市塩田のキャンプ場・淡路ワールドビレッジで開催し、小学生以下の子供と保護者など約240人が参加しました。柳学園中・高校生のジャズバンド部による軽快な演奏の後、参加した親子が「あわじのカレー」づくりに挑戦。淡路たまねぎや淡路ビーフをふんだんに使ったカレーに舌鼓を打つとともに、子供たちは流しそうめん体験、竹馬、シャボン玉遊びなどで楽しいひとときを過ごしました。また、国際ソロプチミスト淡路会員の指導で救急救命装置AED（自動体外式除細動器）講習も実施され、参加した親子は真剣なまなざしで受講していました。（問）国際ソロプチミスト淡路 0799-46-0467



NPO法人 IMMC (神戸市) ~楽器演奏で親子のふれあい~



IMMCは、13年間、音楽を通して健全で支え合う地域づくりに貢献する活動に取り組んでいます。楽器演奏という共通の趣味を持つ母親たちを対象に、子ども連れで練習でき、親同士の交流や親子のふれあいを深めるとともに、親も子も共に成長し、子ども達の協調性、社会性等を育むことを目的としています。また、子どもや親子を対象とした参加・体験型など4つのコンサートも開催しています。「共に学び、成長し、社会に『子ども達を健全に育み、心豊かで支え合う地域社会を!』というメッセージを発信していきたい」と石野靖弘理事長は語りました。

(問) NPO法人 IMMC 078-261-8943

サンケイリビング新聞社 ~クリック募金でお母さんが笑顔に~ (8月1日まで)

サンケイリビング新聞社は、母の日制定100周年の記念事業の一環として、ハッピー・ママ・サポーターズ(クリック募金)を実施しています。下記URLのホームページにある募金ボタンをクリックしていただくだけで、1回当たり1円が、クリックされた方に代わって協賛企業が寄付をするしくみです。いただいた募金は「兵庫県地域活動連絡協議会(母親クラブ)」などの“お母さん支援”団体に寄付します。1日1回のクリック募金へのご協力をお願いします。



期間: 8月1日(金)まで URL <http://www.lcomi.ne.jp/osk/mom100/click/click.html>

(問)サンケイリビング新聞社 06-6647-2034

神戸松蔭女子学院大学(神戸市) ~子育て支援コミュニティ・ルームを開設(6月21日)~

神戸松蔭女子学院は、人間科学部子ども発達学科の開設(20年4月)に伴い、地域の親子の子育てを支援するとともに、学生の体験学習の場として、子育て支援コミュニティ・ルームを開設。オープニングセレモニーには、大学や近隣の幼稚園、保育所の関係者や親子連れなど約100名が参加し、母親の有志や大学教員等によるミニコンサートも行われました。勝木洋子・子ども発達科学科教授は、「子育ては人生の中で楽しい部分です。日々の関わりで見過ごしてしまうことも、ここに来てみなさんと共有し、子育ての喜びをいっぱい集めて有意義な時間にしたと思っています。」と抱負を語りました。



(問)神戸松蔭女子学院大学 078-882-8771

神戸親和女子大学(神戸市) ~子育て支援に関するシンポジウムの参加者を募集(7月3日)~

神戸親和女子大学は、現在、保育・教育現場のみならず、大きな社会問題にまで発展している「発達障害」を正しく理解するための基本的な考え方や最先端の動向について考えるシンポジウムを開催します。

日時: 7月3日(木) 18:00~20:30 場所: 神戸親和女子大学三宮サテライトキャンパスセンタープラザ教室(三宮センタープラザ9F) 定員: 250名(先着順) 参加料: 無料

(申込先)大学コンソーシアムひょうご神戸 地域交流委員会(神戸親和女子大学内) FAX 078-591-2465

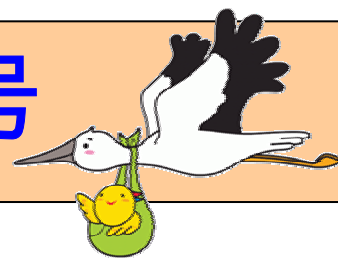
編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部企画少子局少子対策課): E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

子ども未来通信 8 月号

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_00000002.html



県婦人大会で子育て家庭への一層の支援を確認（7月11日）



北野・県連合婦人会長

井戸知事

「地域が育む子どもの未来 今私達に出来る事(地球環境・家族・地域)の再生」をテーマに、7月11日に高砂市内で県婦人大会が開催され、北野美智子・県連合婦人会長が、「経済状況や環境問題、家族・家庭の問題が深刻化するなか、子どもたちの明るい未来を願い、私たちのよき文化や歴史をつないでいくために、地域の連帯の核となって活動を続けていきたい」と挨拶しました。その後、井戸知事が講演し、「それぞれの家庭で『家族

の日』を決め、家族一緒に地域の清掃活動に参加したり、省エネ行動を実践するなどの環境問題に取り組みながら、家族のきずなを深めましょう」と呼びかけました。

(問)県男女家庭室 078-362-3169

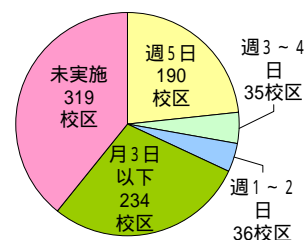
地域女性団体ネットワーク会議が子育て応援ネットの推進を協議（7月1日）

県連合婦人会をはじめ 18 団体で構成する地域女性団体ネットワーク会議(北野美智子会長)が神戸市内で開催され、5年目を迎え、県内の全 814 校区で活動母体が立ち上がった「子育て応援ネット」について、子どもの見守り活動等の実施状況や県の児童虐待防止対策などが報告されました。また、構成団体が応援ネットの活動強化に向けて取り組むことが協議・確認されました。

(問)県少子対策課 078-362-4185



見守り活動の実施状況(登校時)



仕事と生活のバランスを考える「ひょうごフォーラム」を開催（7月7日）

県立男女共同参画センターは、男性も女性もいきいきと自分らしく生きることがを支援し、啓発するため、「ひょうごフォーラム」を開催。県と企業(19社)との「男女共同参画社会づくり協定」の締結式に続き、佐藤博樹・東京大学社会科学研究所教授が講演の中で、「ワーク・ライフ・バランスの実現には、多様な価値観やライフスタイルを受容できる職場づくりが必要。そのためには、管理職の意識改革が不可欠」と話しました。参加者からは「タイムマネジメントの重要性を痛感」、「現在育休中だが復帰後の仕事の仕方について考える良い機会となった」などの感想が寄せられました。



協定締結式

(問)県立男女共同参画センター 078-360-8550

県下全域における小児救急医療電話相談（#8000）の時間を延長しています

子どもの急病時における不安を解消するため、平成 16 年から設置している小児救急医療電話相談の終了時間を 22 時から 24 時に延長しています。

相談内容：小児科医師によるバックアップ体制のもと、看護師等が症状への対応方法等のアドバイスや適切な受診医療機関の案内などを行っています。

対象地域：県下全域

相談時間：月～土曜日/18 時～24 時、日祝日・年末年始/9 時～24 時

電話番号：プッシュホン回線、携帯電話、公衆電話からは #8000、ダイヤル回線、IP 電話からは 078-731-8899。市外局番が 06 及び 072 の地域及び府県境の方は 078-731-8899 をご利用ください。

両親教育インストラクター等研修講座を開催（7月4日）



県立嬉野台生涯教育センターで、子育て支援関係者約100名を対象とした研修講座が開催され、国立女性教育会館の中野洋恵・研究国際室長の講演で、家庭教育・子育て支援における「アウトリーチ」（情報提供等の積極的な支援）の必要性が語られ、その中で「ひょうご親学習プログラム～ゆったりゆっくり親育ち」に沿った本県の取り組みが高く評価されました。その後、このプログラムの実践講座とシンポジウムが行われ、加古川市、赤穂市と豊岡市の子育てセンターの実践事例が発表されました。受講者からは、「活字ではない生の声に大きく刺激された。集うことによる情報網は貴重」との感想がありました。

(問)県立嬉野台生涯教育センター 婦人・家庭課 0795-44-0713

県立こどもの館が「父親のための子育て応援講座」等を開催（7月12～13日他）

県立こどもの館が、父親を対象とした子育て応援講座を開催し、県内各地から参加した31組73名の親子がふれあい体操や、竹工作等を通じて親子のきずなを深め、夜には、子どもへの関わり方等についての意見交換会を行いました。参加者からは、「長時間子どもと過ごして、子どもの新たな部分が発見できた」「父親同士で貴重な意見交換ができた」などの感想が寄せられました。



また、7月20・21日には、親子で自然に接し、科学の楽しさを感じて、工作や実験などで夏休みを楽しもうと、県立こどもの館と近隣の市立姫路科学館「アトム館」、「星の子館」等が合同で「桜山公園まつり」を開催し、おもしろ工作、おはなし会、科学実験、天体観望会など、約70のブースが設けられ、連日多くの家族連れで賑わいました。



(問)県立こどもの館 079-267-1153

近畿児童自立支援施設野球大会を兵庫県で開催（7月8～9日）



近畿の8つの児童自立支援施設で生活する子どもたちが、県立三木総合防災公園野球場などに集い、野球大会が開催されました。保護者など約300名が見守る中、途中、豪雨に見舞われ中断するアクシデントもありましたが、元気よく、はつらつとプレーをする選手の姿に球場が沸き、敵味方なく声援が送られ、2年連続で大阪府立修徳学院が優勝、本県立明石学園は4位となりました。

(問)県児童課 078-362-3198

県立美術館でこどものためのコレクション展 を開催（7月12日～11月9日）

県立美術館では、子どもたちも楽しく鑑賞できるコレクション展「ニュー・コレクション - 新しい美術との出会い」を開催。11点の新収蔵品を作品の修復や版画の技法など、ひと味違ったテーマに沿って紹介しています。夏休み期間中は「夏休みの美術館」と題して、小学校4～6年生を対象にワークシートをプレゼント。作品を見ながら、感じたことをスケッチやことばで記入して、本物の作品と出会った感動をより深めることができます。作品を触って鑑賞できる「美術の中のかたち - 手で見る造形」も同時に開催しています。



(問)県立美術館 078-262-0901

出会いサポートセンターが保育士と企業社員等との交流会を開催（8月1日）

ひょうご出会いサポートセンター（(財)県青少年本部内）は、(社)神戸市私立保育園連盟と連携し、神戸市内で独身男女の交流会を開催。当日、保育士42名と企業・自治体の社員等37名がグループ毎にボーリングを楽しんだ後、場所を移して自然と環境について語りあうなど、同連盟の提案によりユニークな内容となりました。参加者からは「最初は緊張したけれどもとても楽しかった。」といった感想が寄せられました。出会いサポートセンターでは、会員団体相互の交流会など、さまざまなかたちの出会いのお手伝いをしています。



(問)ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

こうのとりの会が南あわじ市で交流会を開催（7月13日）

農山漁村の男性と県内に居住する女性の出会いを支援する「こうのとりの会」と、南あわじ市の「ハッピーマジックの会」が合同交流会を開催。当日は、男女合わせて51名が参加し、会場となった南あわじ市の「じゃのひれオートキャンプ場」で、魚釣りや淡路ビーフや、タマネギなど淡路名産品でのバーベキューなどで歓談。イベントの最後には、自分の連絡先を記した「あのねカード」の交換を行い、すてきな出会いの場となりました。（問）こうのとりの会 淡路青少年本部 0799-26-2048 /

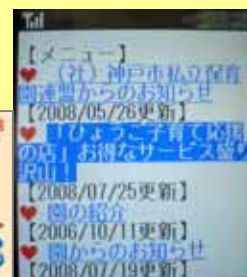
ハッピーマジックの会 南あわじ市少子対策課 0799-44-3040



「ひょうご子育て応援の店」を保育園の保護者へPR

子育て世帯を対象とした割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を県保育協会と神戸市私立保育園連盟を通じて各園の保護者へPRするとともに、保育園と保護者を結ぶネットワークとして運用されている携帯サイト「よい子ネット」に、店頭で提示することでさまざまな特典を受けることができる「パスポート」を掲載しました。待受画面への設定等を行った上で協賛店舗で提示・ご利用下さい。（問）少子対策課 078-362-4232 よい子ネット

<http://yoikonet.jp/> ひょうご子育て応援の店 <http://www.hyogo-kosodate.jp/>



携帯サイト「よい子ネット」

神出学園「体験型説明会・相談会」の参加者を募集（8月27日）

不登校やひきこもりの悩みをかかえる県内の中高生及び20歳未満の男女とその保護者の方々を対象とした学園説明会と個別相談会を開催します。説明会では、「自分探しの第一歩」となるよう学園のスタッフと一緒に支援プログラムの一部を体験していただきます。日時：8月27日(水) 場所：県立神出学園 定員：20組（問）県立神出学園 教務課 078-965-1122

夏休み親子タイアップセミナー受講者を募集（8月19～26日）

生活創造プラザ登録グループが、親子で取り組む、パンづくり、旬野菜料理、布おもちゃ・楽器づくりなどの講座を開催します。日時：8月19日(火)、21日(木)、26日(火) 場所：神戸生活創造センター内創作工房等 定員：各回親子10～15組(先着順) 参加料：各回500～1000円(材料費別)

(問)神戸生活創造センター・生活創造プラザ 078-360-8539

県・市町、NPOと企業による子育て支援メッセを開催（9月6日）

NPOと行政の子育て支援会議は、「子育てって楽しい!!!～様々な子育て支援のあり方を探る～」をテーマに、交流会、ベビーサイン体験、親子カフェ、企業・NPO・行政のブース出展などを内容とした子育て支援メッセを開催します。日時：9月6日(土)13:00～16:00 場所：クリスバル(ＪＲ神戸駅前、神戸クリスバル3F)

参加料：200円

(問)県少子対策課 078-362-4232

「ものづくり指導者養成講座」の受講者を募集（9月13日～11月16日）

地域の子育て施設等における指導者を養成するため、ものづくりの実技、理論を学びながら造形力、技術力、デザイン力を身につける講座を開催します。日時：9月13・14日、10月4・5・25・26日、11月15・16日の全8日間 場所：県立こどもの館 定員：20人 受講対象：県内在住で、原則毎回受講できる方(高校生以上) 申込期限：8月22日(金) 先着順 参加費：無料 (問)県立こどもの館 079-267-1153

「家族の日」写真コンクールの作品を募集（10月10日締切）

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環として、写真コンクールの作品を募集します。テーマ：「わが家の家族だんらん」 応募資格：県内に在住又は通勤・通学する者 締切：10月10日(金)必着 賞：兵庫県知事賞ほか 発表：10月下旬に直接通知。入賞者は「ひょうご家庭応援県民大会」(11月16日(日)開催)で表彰 (問)県男女家庭室(ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局) 078-362-3169

子育て家庭を応援します！県民局レポート 「ふたご・みつごの家族交流会を開催」～東播磨県民局～

東播磨県民局明石健康福祉事務所は、地域の中で安心して多胎児の子育てができる環境を整えることをめざした「低出生体重児等育児サポート事業～ふたご・みつごの家族交流会～」を7月8日(火)に明石市立産業交流センターで開催。多胎児は、単胎児に比べて子育ての負担が大きく、妊娠中も支援を要することが多いことから、多胎児をもつ先輩ママにアドバイザーとして参加いただき、悩みや思いを共有し合いました。参加者からは、「みんな同じ悩みを抱えているのが分かった」「他のお母さんの話を聞いてパワーをもらった」などの感想が寄せられました。次回は11月4日(火)に明石市立産業交流センターで開催予定です。



(問)東播磨県民局明石健康福祉事務所 078-917-1131

団体・企業・大学の活動紹介

NPO法人 ウィズネイチャー（神戸市）～子育て情報ポータルサイトを開設～

NPO法人 ウィズネイチャー（西森由美子・理事長）は、お母さんと幼児を対象とした自然体験活動プログラムを提供しており、この度、インターネットで、地域に密着した子育て情報の配信を始めました。内容は、実際に取材したことを中心に、情報提供者の顔が見えるように心がけ、親子コンサート、絵本情報、食育など、子育てに大切なコンテンツを提供するとともに、一般の方には意外と知られていないNPOや団体の活動紹介もしています。



<http://minna-e.net>

(みんなイーネット)

(問) NPO法人 ウィズネイチャー 078-621-3127

㈱JR 西日本交通サービス ～県内5か所で JR キッズルームを運営～

株式会社 JR 西日本交通サービス（内藤正人・代表取締役社長）は、県内5駅（兵庫・垂水・六甲道・川西池田・三田）で駅ナカ託児所「JR キッズルーム」を運営しています。保育時間は朝7時から夜10時まで（土日も営業）。また、保育以外にも、英会話などの「幼児教室」、ベビーカーのレンタルや粉ミルク等を販売する「外出支援サービス」、夕方の幼稚園へのお迎えを代行する「送迎サービス」も実施しています。送迎サービスは、各キッズルームから概ね半径2Km圏内が対象で、お迎え後も当キッズルームの保育をご利用いただくことが可能です。



(問) JR六甲道キッズルーム 078-857-9110 <http://jrw-kids.jp/>

大学コンソーシアムひょうご神戸～「子育て支援に関するシンポジウム」を開催（7月3日）～

県内の44大学等で構成する「大学コンソーシアムひょうご神戸」は、発達障害についての基本的な考え方や最先端の動向を学び、正しく理解することを目的としたシンポジウムを神戸市内で開催。保育士や幼児教育関係者など約220名が参加し、大島剛・神戸親和女子大学教授の司会のもと、パネリストに拓殖雅義・兵庫教育大学大学院教授、中尾繁樹・関西国際大学准教授、高田哲・神戸大学大学院教授を迎え、発達障害に対する認識不足から生じる指導方法の誤解、学校や自治体での対応の格差、子どもの気持ちを知る大切さなどについて意見が交わされました。



(問)神戸親和女子大学 078-591-2897

神戸新聞社～「すきっぷ21-みんなの子育て」フォトコンテストの作品を募集(12月19日締切)～

神戸新聞社は、同社が展開している子育て支援プロジェクトの一環として、親子のふれあいや、子育てをテーマにしたフォトコンテストの作品を募集しています。応募資格：不問 締切：12月19日(金)必着 賞：最優秀賞1点を含む計20点程度 発表：1月下旬に神戸新聞紙上で公表するとともに、入賞者のみ直接通知。

(問)神戸新聞社地域活動局 078-362-7052

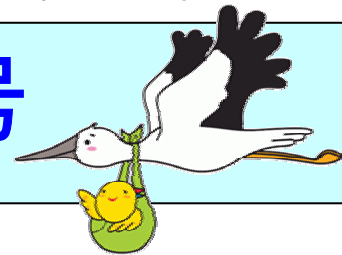
編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部企画少子局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

子ども未来通信 9 月号

http://web.pref.hyogo.jp/hw08/hw08_00000002.html



県少子対策本部が3年間の取り組みを総括(8月26日)

兵庫県少子対策本部(本部長 井戸県知事)は、26日に、17年8月の本部設置以降の3年間の取り組み状況を報告しました。同日の定例記者会見で知事は「ひょうご子ども未来プランの目標 - 18~22年の5か年間の出生数25万人 - については、18・19年は年間5万人に少し足りないレベルで推移した。20年上半期は前年同期より少し増えているので、出会いサポート事業や、こうのとりの会事業などにさらに期待したい。」「今後は、妊娠・出産から就学後までのすべての子どもを対象とした切れ目のない支援、企業との協力による仕事と生活のバランスの推進、社会全体の協働による子育ての推進などを進めていく」とコメントしました。



(問)県少子対策課 078-362-4183

まちの寺子屋プロジェクト、本格スタート(8月28日)

県と大学が協力し、地域の子育て支援を進める「まちの寺子屋プロジェクト」のスタートとして28日に神戸松蔭女子学院大学で「まちの寺子屋師範塾」が開催され、勝木洋子・同大学発達科学部教授が「世界の子ども健康と環境」などをテーマに講演。まちの寺子屋師範塾は、今回を含め、神戸大学、兵庫県立大学、神戸親和女子大学など今年度に県内13大学において、地域の子育て支援、食生活、発達障害や環境学習など15講座が来年2月まで順次、開催される予定。講座の修了者には「寺子屋師匠認定証」が授与され、本人の希望に応じ、まちの子育てひろばなどでボランティアとして活動いただくとともに、自らが子育て支援活動を主催する方に、「まちの寺子屋」の看板をお渡します。



神戸松蔭女子学院大学での講座

「まちの寺子屋師範塾」9月開講分

(問)県少子対策課 078-362-4183

園田学園女子大学	
園田流子育て講座	
第1回	9/17(水) 10:40~12:10 講師 竹元恵子氏(人間健康学部准教授) 「子どもの救急処置について」
第2回	9/24(水) 10:40~12:10 講師 田中穂積氏(人間健康学部准教授) 「自然と環境-身近な生き物について考える」
第3回	10/8(水) 10:40~12:10 講師 餅美知子氏(人間健康学部准教授) 「子どもを取り巻く食事情」
第4回	10/17(金) 10:40~12:10 講師 中西龍一氏(人間健康学部准教授) 「子どもの発達-子どものことと子どものあたま」
第5回	10/22(水) 10:40~12:10 講師 堀井二実氏(短期大学部准教授) 「子どもと付き合うには」
受講料 無料(教材費別途) 募集人員 20名	
<申込み・問合せ先> 尼崎市南塚口町 7-29-1 TEL 06-6429-9908 FAX 06-6421-7009	

神戸女子大学	
食と子育てを学ぶ	
第1回	9/26(金) 16:20~17:50 講師 梶木典子氏(家政学部准教授) 「遊びで社会が変わる~遊びあふれるまち~」
第2回	10/4(土) 9:00~12:00 講師 瀬口正晴氏(家政学部准教授) 「パンのふくらみとフーセンのふくらみとのちがい」
第3回	10/18(土) 9:00~12:00 講師 清水典子氏(家政学部准教授) 「こどもたちの健康を守る」
第4回	11/8(土) 9:00~12:00 講師 瀬口正晴氏(家政学部准教授) 「こどもの健康を守るパンの練習 1」
第5回	11/22(土) 9:00~12:00 講師 瀬口正晴氏(家政学部准教授) 「こどもの健康を守るパンの練習 2」
受講料 無料 募集人員 40名(女性のみ)	
<申込み・問合せ先> 神戸市須磨区東須磨青山 2-1 TEL 078-737-2431 FAX 078-732-5161	

神戸親和女子大学	
子育てをどう支援するか	
第1回	9/27(土) 10:00~12:00 講師 石岡由紀氏(発達教育学部准教授) 「子育て支援の実際」
第2回	10/4(土) 10:00~12:00 講師 山根耕平氏(発達教育学部准教授) 「今の子育てと昔の子育て」
第3回	10/11(土) 10:00~12:00 講師 中橋美穂氏(発達教育学部准教授) 「これからの子育て支援に求められるもの」
第4回	10/18(土) 10:00~12:00 講師 山本裕之氏(発達教育学部准教授) 「子育てを楽しむための音楽活動」
第5回	10/25(土) 10:00~12:00 講師 神吉脩氏(発達教育学部講師) 「子育てを楽しむための制作活動」
受講料 無料(教材費別途) 募集人員 30名	
<申込み・問合せ先> 神戸市北区鈴蘭台北町 7-13-1 TEL 078-591-2934 FAX 078-591-5243	

受講申し込みについては、右のHPを参照ください。 http://web.pref.hyogo.jp/hw09/hw09_00000171.html#03

井戸知事が「伊丹児童くらぶ」を訪問（8月12日）

放課後の子どもたちのための放課後児童クラブ「伊丹児童くらぶ」と伊丹市の子育て支援施設「いたみむっくむっくルーム」を井戸知事が訪問。子どもたちとけん玉遊びをしながら、「のびのび元気に楽しい時間を過ごしてください」と語りかけるとともに、藤原保幸・伊丹市長などと意見交換を行いました。（問）県児童課 078-362-3197



子育て応援ネット市町連絡会議を開催（8月29日）



県内41市町・全814校区において、1668名の子育て家庭応援推進員等による推進体制が構築された子育て応援ネットが、今後の活動の一層の充実を図るため、市町連絡会議を神戸市内で開催。会議では尼崎市・川西市・高砂市・三木市・淡路市の事例の発表がなされた後、「子育て応援ネットの今後の展開」をテーマに、地域ごとのグループに分かれて、意見交換等が行われ、各グループから、在宅で閉じこもっている人や発達障害で悩んでいる方への支援、地域団体の連携強化などの今後の課題等について報告が行われました。

（問）県少子対策課 078-362-4185

出会いサポートセンターがコミュニケーション力アップセミナーを開催（8月24日）



ひょうご出会いサポートセンターは、コミュニケーション力アップセミナー＆交流会を神戸市内で開催。男女あわせて46名が参加しました。専門講師2名を迎えてのセミナーでは、聞き上手になる方法や上手なメッセージの伝え方などを参加者同士で実践しながら受講。参加者からは、「自分の意識や行動を変えるために参加したが、今後も、今日学んだことを少しでも実践したい」との感想がありました。

（問）ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415

「仕事と生活の調和の推進研修」を開催（8月22日）



（財）兵庫県自治協会は、県内市町の職員を対象に、子育て支援や介護などに取り組む実務担当者を対象に「仕事と生活の調和の推進研修」を開催。前半の部では、清原理事兼少子対策本部事務局長が、子育てと仕事の両立について、自身の経験談も踏まえ、制度の推進に向けた県の取組等について講演を行いました。後半の部では、県内企業等から子育て支援やワークシェアリングに関する先進的な取組事例が紹介されました。

受講者からは、「自身の職場や家庭での現状を見直す良い機会になった」「今後行政と企業とが一緒になって取り組んでいく必要性を感じた」等の意見がありました。（問）兵庫県自治協会（県市町振興課内）078-362-3097

県立こどもの館が劇団演劇発表会を開催（8月16～17日）

県立こどもの館は、県内の中学生・高校生で構成する「こどもの館劇団」の発表会を開催、のべ約400人の観客で賑わいました。18回目を迎える今回のテーマは「光（ひかる）の夢のものがたり」。千年紀を迎える源氏物語を題材に、現代の中学生に生まれ変わった光源氏が前世の約束を思い出す夢を見る内容となっています。劇団員は、NPO法人「演劇百貨店」代表理事の脚本家・柏木陽氏の指導のもと、劇団OGやボランティアとともに、1月間練習に励んできた成果を存分に発揮しました。参加者からは「子どもたちが一生懸命に頑張っている演劇を見ることができて楽しかった」といった感想が寄せられました。

（問）県立こどもの館 079-267-1153



加古川健康福祉事務所が低出生体重児等を持つ親の集いを開催（8月8・20日、9月4・25日）

東播磨県民局加古川健康福祉事務所は、加古川市・加古郡居住の2500g未満で生まれた低出生体重児等を持つ保護者を対象に、「はっぴーママ（低出生体重児等を持つ親のつどい）」を開催。子ども達が託児ボランティアと遊びを楽しんでいる間、保護者は「子どもの食事や遊び」「発育・発達」「ひとりにならない子育て」などをテーマにグループワークを行うほか、8月20日には神戸大学大学院・高田哲教授（小児科医）の助言により、発育・発達・病気の予防について学習しました。

参加者からは、「同じ思いや悩みを持っている保護者同士話ができて良かった」「身近な子育て情報を知ることができた」といった声が寄せられ、保護者がつながり広がるきっかけづくりとなりました。

（問）東播磨県民局加古川健康福祉事務所 079-422-0003



ひょうご子育て応援の店 協賛店舗が 2000 店舗突破！

県では、子育て世帯を対象とした割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を展開しており、このたび、ガスト(48店舗)、ジャスコ(14店舗)、松屋(17店舗)等から協賛の申し込みがあり、登録店舗数が2117店舗に達しました。今回登録された新原歯科・矯正歯科クリニック(神戸市須磨区)では、子ども連れの来院者が安心して治療が受けられるよう、保育士が常駐するキッズスペースを完備しています。これら子育て応援の店のサービスは下記でご確認ください。



新原歯科・矯正歯科クリニック

ひょうご子育て応援の店 <http://www.hyogo-kosodate.jp/>

(問) 少子対策課 078-362-4232

県青少年本部が「ふるさと体験留学」を神河町で実施(7月30日～8月12日)



県青少年本部は、都会の子どもたちが親元を離れ、自然豊かな地域で仲間と暮らす「ふるさと体験留学」を神河町地域交流センターで実施。清流、森、のどかな山里の景色に恵まれた、標高430メートルの「地域交流センター」を拠点に、農家へのファームステイや溪流キャンプ、千ヶ峰登山、ナイトハイキング、かまどやいろり、五右衛門風呂などのある昔の生活体験や異なる年齢の集団生活を通して、協力・協調・思いやりの心を学びました。

(問) 県青少年本部 078-360-8590

子育て家庭を応援します 県民局レポート 「子育て応援ネット交流大会を開催」

～北播磨県民局～

北播磨地域において、子育て応援ネットの活動に取り組む子育て家庭応援推進員等の交流を図り、地域での子育て支援の機運を高めるための子育て応援ネット交流大会が開催され、約300人が参加。神戸常盤大学短期大学部・小崎恭弘准教授が、「お父さんの子育て参加が社会を充実させる」と講演しました。また、地域の児童虐待の実態や虐待予防について、中央こども家庭センターからの説明や三木市、小野市、多可町で子育て支援活動を行っている団体が活動事例を報告。登下校の見守りや、親子遊び、悩み相談、世代間交流を深める催しなどに取り組む様子が紹介されました。



(問) 北播磨県民局県民生活部地域協働課 0795-42-9513

すこやかな子育て応援事業の参加者を募集(各回とも先着順締切)

県立総合衛生学院は、子どもが本来もつ生きる力を育み、親が子育てを通して成長していくプロセスを地域ぐるみで支援するため、すこやかな子育て・親育ちを応援するためのセミナーと、子育て中の親子や妊婦が交流できる親子ひろばを開催します。《セミナー》日時：9月10日(水)、10月8日(水)、11月5日(水)、12月22日(月)、1月14日(水)、2月12日(木)の全6日間 場所：ホテル サープ神戸アスタ2階(大丸新長田店南向かい) 定員：各20～40組 参加料：500円 一時保育実施 《親子ひろば》日時：12月24日(水)、1月28日(水)、2月25日(水)、3月25日(水)の全4日間 場所：大丸新長田店2階 参加料：無料 《締切》セミナー・親子ひろばとも、各回の当日まで受付 先着順 (問) 県立総合衛生学院 078-733-6611

阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム～みんなで創ろう！子どもの笑顔があふれるまち～の参加者を募集(9月11日締切)

阪神北県民局は、子どもが生き生きと育つ、魅力あふれる社会をつくる答えをさぐるため、「子ども」と4つの領域(家庭・地域社会・自然・学校)との関係性について、参加者全員で話し合うフォーラムを開催します。日時：9月21日(日)13:30～16:45 場所：三田市まちづくり協働センター 定員：130名 締切：9月12日(金) 先着順 参加料：無料 (問) 阪神北県民局 0797-83-3119

「こどもの健康週間」の写真を募集(9月12日締切)

県健康増進課は、「こどもの健康週間」の事業として、「こどもの健康とは何か」、「健やかな成長とは何か」をテーマとした写真を募集しています。内容：子どもを中心に、ほのぼのとした情景を表現した写真 応募資格：県内在住者 賞：兵庫県知事賞ほか6点 発表：入賞者のみ本人に直接通知。入賞者は「こどもの健康週間兵庫県大会」(10月18日(土)開催)で表彰 締切：9月12日(金) (問) 県健康増進課 078-362-3250

子育て応援ネットワーク交流大会「みんなで考えよう！小児救急医療」の参加者を募集（9月12日締切）

阪神北県民局は、家庭の看護力の低下や育児不安の増大が問題となっていることから、阪神北広域こども急病センターにおける小児救急医療の現状を紹介し、親等の不安解消につなげるための適切な受診方法や、地域での子育て支援・小児救急医療への適切ななかかわり方などを学ぶ交流大会の参加者を募集しています。日時：9月27日(土) 場所：川西市みつなかホール 定員：100名 締切：9月12日(金) 先着順 参加料：無料 一時保育実施（先着10名まで） (問)阪神北県民局 0797-83-3136

ひょうごの中学生演劇フェスティバルの参加者募集（9月12日締切）

県立こどもの館は、県内で活動する中学生の演劇グループ等に発表の場を提供することで、学校以外の場における個性の伸長と自己表現力の育成を図り、自主的な創造活動の促進を目的とした演劇フェスティバルの参加グループを募集しています。日時：10月19日(日) 場所：県立こどもの館 定員：7グループ 締切：9月12日(金) 先着順 参加費：無料 (問)県立こどもの館 079-267-1153

県住宅供給公社が新婚・子育て家庭の入居者を募集（12月31日締切）

県住宅供給公社が阪神間を中心に管理している特定優良賃貸住宅において、新婚の方を応援する「新婚ネオライフプラン」、子育て中の家庭を応援する「子育て安心プラン」、老親と同居の家庭を応援する「シルバー同居交流プラン」を設け、毎月の入居者負担額に対し2万円を補助するキャンペーンを実施しています。締切：平成20年12月31日 (問)阪神間の住宅：公社住宅募集センター078-63-4810・神戸市内の住宅：神戸事務所 078-232-9557・明石市内の住宅：播磨東事務所 079-423-0117・上郡町内の住宅：播磨西事務所 079-289-0076



アメニティコート西宮北口

団体・企業の活動紹介

おはなしボランティア（淡路市）

おはなしボランティア（関美恵子・代表）は平成4年に淡路市内の図書館を拠点に発足。毎週土・日曜日に子どもや保護者を対象に、絵本の読み聞かせ会、紙芝居、エプロンシアターや人形劇等を通じて、子どもたちとの交流を楽しみながら活動しています。最近では知的や身体に障害のある子どもたちの親が、会議や研修で子どもを見ることのできない場合などに、一時的に子どもを預かって紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行うなど、地域の子育てを応援しています。



同団体は、「平成19年度子育て応援元気アップ賞」を受賞しました。(問)おはなしボランティア 0799-60-2077

(株)オカモト・コンストラクション・システム（尼崎市）

(株)オカモト・コンストラクション・システム（代表取締役 岡本征夫）は一般都市土木工事や建築工事の設計・施工を行う建設会社です。就学前児童を持つ社員に対する短時間勤務を認めているほか、育児中の社員に対しては残業を免除しているとともに、保育園や学校行事等への積極的参加を推奨することなどを通じて社員の子育てを支援しています。今後はさらに、育児や病児の介護のために社員が休暇を取得しやすい職場づくりを進める一方、休暇中の仕事のサポート体制を整備していくとともに、子どもの誕生日といった記念日にも休暇制度が導入できるよう検討しています。(問) (株)オカモト・コンストラクション・システム管理部 06-6416-6855



編集部からのお知らせ

「子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に原則として電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部企画少子局少子対策課)：E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp